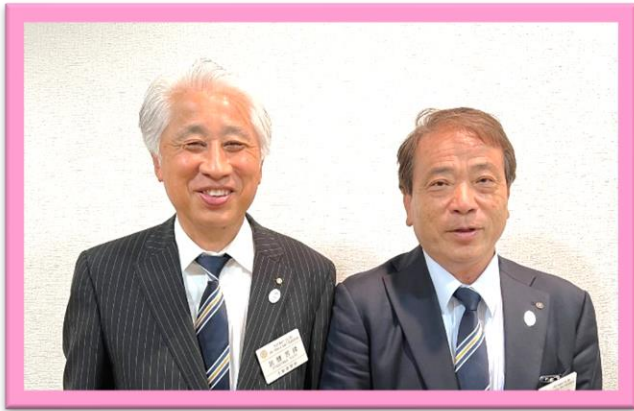




イマジン
ロータリー

草加松原ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ イマジンロータリー



第494回 例会 9月27日 草加市文化会館

＊ ＊本日のプログラム ＊ ＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

卓話「ロータリーの友」について
地区代表委員 山内一浩様

9月20日の例会記録

- ◆ お客様 センジャー（賽音吉雅）さん
第9G ガバナー補佐 齋藤幸子様
〃 補佐幹事 竹内惟子様
- ◆ 会長あいさつ 加藤芳隆会長

皆さんこんばんは、9月16日のゴルフ、ご参加の皆様お疲れさまでした。鈴木幹事は前日に練習に行ったそうなのです。そうした所、2回打ったところで筋を痛めてリタイヤと言う事で、当日は大変残念ですけどプレーができませんでした。

さて、昨日予定しておりました「草加松原ロータリークラブ杯バレーボール大会」ですが、コロナ禍でここ2年、中止されていたと思います。木村年度、二階堂年度が中止と言う事で3年ぶりに開催する予定でしたが、大変残念なことに台風のために記念体育館は大雨が降ると地下の駐車場が冠水するという事で大事をとって中止と、前日まで準備をされておりましたので、並木会長をはじめ皆様方は苦渋の決断だったのではないかと思います。そんな中で開会式の出席とご挨拶の依頼がきておりましたので、話の内容を考える中、バレーボール大会は何回目かを調べる中、川井大輔会員に伺いましたら、調べて下さいました。川井会員は2000年に草加RCの会長をされたそうです。その際の挨拶文が残っていたそうですので、その時に46回と入っていたそうです。2000年に

46回ですから、それから22年経っています。何回か大会を中止されていますが68年経っています。私の年は、69歳ですから、生まれたことからやっていると言う事でございまして、大変長い間やっていると言う事にビックリ致しました。今日お越しの齋藤さんも関わっていらしたことがあるそうで、68年も前からご支援させていただいていると言う事が全く分かりませんでした。今回大変残念でしたが、前日に中止と言う事で、皆様にお図り願いたいのですが、協賛金ですがこちらで用意をさせていただきましたが、コロナ禍で当初より中止と言う事でしたら致し方ないのですが、前日まで準備をされていまして、本来であれば理事会にかけて協賛金をどうするかと言う事になるのではないかと思います。今回はすべて準備をされていまして中止と言う事なので、皆様方にご承認いただければ協賛金をお渡ししたいと思いますがいかがでしょう（拍手で承認）それでは差し上げたいと思います。次年度は開催できるのではないかと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

本日は「草加せんべい物語」センジャーさんの卓話がございました。楽しみにしております。宜しく願い致します。



国際ロータリー第2770地区第9グループ



草加松原ロータリークラブ

会 長：加藤 芳隆
幹 事：鈴木 努

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp

草加せんべいと私

センジャー(賽音吉雅)さん

センジャーさんご紹介

長谷部健一プログラム委員長

皆さんこんばんわ、センジャーさんのご紹介をさせていただきます。センジャーさんは内モンゴル出身ということで、日本に興味を持ち、22年前に来日、そして後ほど聞かせていただきますが、馬頭琴奏者で活躍されています。当草加松原 RC には、2 年目でしたか川井大輔さんの紹介で、例会に来ていただいて、演奏していただき、楽しんだという思い出があります。今回は、「いけだ屋さん」のせんべいの映画を作られたということで、今日お願いをしたのは「草加せんべいと私」と言うテーマでお話をさせていただき、草加のせんべいをなぜ好きになったのか、草加に親しみを感じていただいているのでその辺のお話と、馬頭琴奏者として演奏をしていただきたいと思います。現在は東京富士大学准教授をされています。先日のアコスホールでの「生き生き音楽祭」でも活躍していただき、学生を沢山連れてきてお手伝いもしてくれました。草加にとってこれからも大切な人材と捉えています。今日はセンジャーさんのお話と演奏を楽しんでください。宜しくお願い致します。

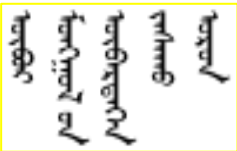


みなさんこんばんは、馬頭琴奏者のセンジャーと申します。先ほど長谷部さんからご紹介いただきましたが、日本に来て 22 年目になります。22 年前に初めて日本に来たのは、留学生として来ました。今日は日本に来たきっかけや自分の故郷「モンゴル」、日本でやってきたことや草加せんべいとの出会いの話をしてみたいと思います。皆さんどうぞよろしくお願い致します。センジャーとしては草加にきて10年前からコンサートをしてまいりましたが、今日は忌めてお会いする人もいますし、僕のコンサートに来ていただいている方もいらっしゃるのですが、まず自分のことを紹介すると、「センジャー」と言うのは、モンゴル語で「いい運命」ということばです。「セーン」は良い悪いの「良い」、「ジャー」は「運命」と

言う言葉なのです。日本に来て最初に日本語の学校に行き、それから大学に行き、その後に馬頭琴奏者として活動しているうちに、今年から「東京富士大学」の専任教員になりました。内モンゴル出身です。皆さんご存じかと思いますが、もて、内モンゴル芸術学院の大学に入りまして、4 年間馬頭琴選考として学んで、卒業した直後の 1990 年に大学を卒業してそのまま 2000 年 4 月 14 日に日本に参りました。初めて飛行機に乗る、初めて海を見るのが日本でした。日本語学校に 1 年間、日本語を勉強し、大東文化大学に入りました。卒業後に馬頭琴の演奏が始まりました。僕はなぜ日本で馬頭琴奏者として活躍できたかと言うと、「内モンゴル」と言う、皆さんもよく知っている馬頭琴の物語「スーホの白い馬」は内モンゴルに生まれたのです。赤いところが内モンゴルです。今は中国に入っておりまして、中華人民共和国の一部になっております。日本に来てよく言われるのは、「あなたは何人ですか」と聞かれますが、22 年間言い続けてきたのは、「僕はモンゴル人」ですと言っています、**「あなたはどこのパスポート」**を持っていますかと聞かれます。



僕は「中国のパスポート」を持っています。でも中国人ではありませんと言うと皆さん「え～そうなのですか」と言われることはよくありました。でも僕はモンゴル人としてどうしていきたいと思っています。「内モンゴル」の面積は日本の 3 倍以上の広さがあります。人口は 2,400~2,500 万人いると言われていて、その中で一番多いのは中国人の漢民族なのです。内モンゴルと言う名前なのにモンゴル人が少ないのはわかりませんが 500 万人の中で、400 万人がモンゴル人と聞いたことがあります。今のモンゴルは、昨年からはモンゴルの文字をできるだけ使わないようにと国から教育政策が始まったところなんです。僕の世代はモンゴル語で学んですべての授業がモンゴル語で受けたのですが、2025 年になったらすべての授業は中国語になります。モンゴル語は外国語として学ぶことになるという計画が始まっているようです。モンゴル人として生きた文化・生活を残したいとの気持ちがありまして、これからも日本で生きていきたいと思っています。これがモンゴル文字です。これがこれから使われないような時代が来る、それがモンゴル人としてはよいのかな～という不安もあります。



日本での演奏活動で得たことは「スーホの白い馬」の物語と関係がありまして、今も日本の小学 2 年生の国語の教科書に載っております。今から 50 年くらい前から教科書に載り始めています。モンゴル人としては嬉しくて、有難い気持ちもあります。日本に来て国際交流関係のイベントに出て馬頭琴を弾いているうちに、小学校の先生と出会うことができました。小学校での演奏会も多かったのです。2005 年に大学を卒業して日本で活動していきたいと

思い、映像作品「スーホの白い馬」を作りました。これが文部科学省選定作品に選ばれたきっかけから、この作品が今もこの本の小学校の図書館や街の図書館、小学生の教材としても使われています。これが日本での演奏活動のきっかけになったひとつでもあるし、作品を作ったことから草加市で講演会ができたことでもあります。そしてよくわからないうちに「徹子の部屋」に出てしまいました。話が来た時にはよくわからなくて、テレビの収録がありますので空けて下さいと放送日の 2 週間前に言われて、3 日後に撮影に行きまして、2010 年の 3 月 4 日に放映されました。放送された後に、ある人からこの番組を出たことで、日本で一生生きていけるのではないですか！と言われました。「そんなに効果があるのですか」と聞いたら、今はすぐには出ないけどあると思います。そういう事でそれから 12 年になります。この 10 年前の僕が、きっかけから色々な所で演奏会によばれて、沖縄から北海道まで行きました。それで自分も調子に乗って、映画に出たいとか、テレビに出てみたいなど、色々なことがあり、NHK の仕事を一度しました。「ホッとアジア」にも出演してテーマ曲を演奏したりして、自分がいけていると思います。活動をしてきました。その中で齋藤幸子先生に 10 年前に出会いました。先生も若かったな～と思ったのですが、まだ日本もあまりわからなくて、馬頭琴だけ弾けますと話したら、先生は「今度呼んでもいいですか」と言われたので、「是非呼んで

ください、馬頭琴と言う楽器を日本中のどこでも、すべての日本人に聴いていただきたい」と話をしたら、先生から話をいただきましてそれが初めて草加市に来たきっかけです。日本に来ていまでも言えることが「出会いです」人と人の出会いは本当に素晴らしいもので、自分がここまでこられた、齋藤先生には感謝です。センジャーと言う人を作り上げた人です。先生から日本の文化、庶民的な交流、齋藤先生からスタートしたので、草加市は僕の故郷でもあるイメージはあります。そこからまた展開していきま



て、私のやってきたことの一番は、毎年草加市でコンサートをやってきました。その中で、草加せんべいに出会います。元々草加のことをわかっていなかったのです。どのような町なのか！コンサートの時にもらった草加せんべいを食べながら草加煎餅にはまったのは、僕は終わって車を運転して帰る時に、疲れてのどが渇いて、烏龍茶を飲みながら、せんべいを食べるのが一番、そこからスタートしたのです。それで煎餅にはま

まして出会ったのが「いけだ屋さん」です。いけださんのせんべい日本に来て一番食べています。草加と言えば「煎餅」、おいしいから食べていました。なぜ映像作品にしてみたいと思ったかと思

いは、5年前です。日本に来て15年、できたことは日本語ができました。それ以外の日本の文化などに何も触れなかったことが悔しくて、何か出来れば良いなと思っ

てそこから色々な伝統文化を探し始めました。そこでなかなか出会えない！音楽は、演歌からポップスなどの曲もあるし、楽器で言えば箏から三味線、太鼓などたくさんあります。

色々試したけど、自分の心に響かなかったけど、煎餅を食べた時に、なぜ煎餅は日本の伝統菓子になったかな〜と強く感じました。それで色々調べ始めました。そこで「煎餅-草加」「草加-煎餅」と言う事が頭の中に浮かんで

きたので「草加せんべい物語」を作りたいと思いました。思ったきっかけはやはり「いけだ屋さん」です。

いけださんのホームページを見た時に150年前からあるお煎餅屋さん、草加にはたくさんの煎餅屋さんがあるのですが、ここまで家族ですとやってきている店はなかなかないと言う事がわかりました。それで今回は、自分なりの自分が見た日本文化、家族の愛と言うものをベースとして作っていきたくて映画を作成しました。なぜ家族の愛の言葉が出てきたかと言うと、6年前に結婚しまして、子どもが生まれて、家族が大事だと言う事を改めて感じました。「いけだ屋」と言う煎餅屋さんは、家族の愛がなければ150年続けることはできないと改めて感じたので、どうしても作品を作りたいと思い、スタートしました。この作品を作るにあたって、もちろん自分も映画に出たこともありますし、スターになりたい、出たいと言う事だけ思っていました



が、今回は出るのではなく、深い物語を探していきたくて思ったのが今回の信念です。そこで長く付き合いをしている監督に相談しました。この映画を作り始めて、いけださんに何度も伺いました。いけださんに行って感じたことは、家族の愛を感じましてモンゴルでは家族の愛と言いな

かなか自分の気持ちを家族に話したことはありません。モンゴルの人達は、シャイと言うのか自分で思っているけど口に出さない！でも私はいけださんと出会って家族の触れ合いと言うのはわかりました。触れ合いしないと愛は生まれないと感じました。日本に来て、時々お父さん・お母さんとテレビ電話で話をするのですが、怒られるばかりでしたけど、お互い自分の考えを話したことがなかったことは、今回いけださんの会長・社長とおかみさんの会話がとても楽しくて、そのままカメラにしたのです。映画の中で色々出てくるのですが、それが映画を作った大変すばらしい経験した事でもあります。それを東武よみうり新聞に取り上げていただき、今回は私の目線から見た主演は「いけだ屋の女将さんです」やはり家族の中で「お母さん」は本当に大事な大きな役割なのです。このようなお母さんがいなければ、いけだ屋さんも続けていないな〜と私は改めて感じまして、全ての家庭でもお母さんは一番大きな役割、お父さんはもちろん外で仕事をしているのですが、家庭に帰り子どもと遊ぶ時は一番幸せなのですが、家庭を守ってくれているのは女性なので家庭を持った時にわかりました。今回の映画の目線はおかみさんの方に向けていました。見た方も見てない方もいらっしゃると思います。是非見ていただきたいと思

います。映画の中でシーンとしてあるのは煎餅の作り方、私も作り方に興味がありまして一番最初から会長に話を聞きながら撮っていったので私はこの作品非常に自信があります。世界中に回って行きたいと思っています。今はコロナ禍でいけないのですが、海外で沢山コンサートをしてきたので、演奏会したところでこの映画を上映しながら馬頭琴の演奏会をしていきたいと思

います。これが僕の作った「伝統文化ロードムービー」です。文化がなければ芸術も生まれません、日本では外国人として生きているので、異文化交流、これからの大学の先生としての研究のテーマでもあります。今日は私の熱い想いが届いたかどうかわかりませんが、ひとつ言いたいことは「草加煎餅物語」是非見ていただきたいと思

います。ここにも撮影に来ました。映画公開是非見ていただきたいと思

います。今日は東京富士大学で「イベントプロデュース学科」で先生をしております。経営学部の中の「イベントプロデュース学科」この学科は日本で唯一大学で設立した学科です。他の大学にはないのです。新しいものを作っていく、これが僕のやりたかったことなので声をかけていただき、今年4月から専任教員になりました。何かありましたら言ってください。企画・制作・運営全てできます。先日は草加シティ RC「生き生きコンサート」でお世話になりました。来月から東京音大に呼ばれまして馬頭琴を教えてほしいという話があり、秋からは馬頭琴の先生になることに、学校からもOKをいただきました。今日は自分の紹介をしながら「草加せんべい物語」の話をしたのですが、草加は僕の日本の故郷でもあります。日本全国色々な所に行きましたが、一番知っている人が多いのは草加市です。今は市川に住んでいます。何で市川に住んでいるかと言うと、初めて日本に来たのが市川市なのです。市川市にあった日本語学校です。市川市には知り合いはいませんが住んでいるだけです。これから馬頭琴の演奏をします。今日は話を聞いていただきありがとうございました。馬頭琴の演奏一生懸命やります。



馬頭琴演奏曲目

- * スーホの白い馬
- * 恋情
- * 万馬の轟



池田国雄会員

皆さんこんばんは、まだ原稿は出来上がっていませんので何を話すかわかりませんが、今日はセンジャーさんの素晴らしい馬頭琴を聞いて、心なむ思いをしました。センジャーさんの「草加せんべい物語」の中でやはりどこのご家庭でもそうだと思うのですが、特にロータリーの皆さんはそうだと思うのですが、奥さんあつての家庭だ、奥さんをいつも大事にしていたきたい！私はだれにも負けえない愛妻家でございます。家庭を大事にすると言う事が何よりなのかなと言うように思っております。

私どもの家業は、代々草加で草加せんべいを作ると言う事になっておりますけど、なぜ草加せんべいできたかと言う事は皆さん重々承知のことであります。その中でいま全国には、煎餅を米菓を家業にしている会社は約 1,800 軒くらいありました。しかしどういわけか草加の地場産業と言われておりますが、地場産業はどこに行っても栄えているところは非常に少ない！1,800 軒くらいありました米菓業もいまは、1,000 軒を切りました。草加せんべいにおきましても一番多い時には市内に 120 軒くらい煎餅業者がいましたが、これがだんだん少なくなってきて、毎年辞めていってしまう！寂しい思いをしております。今草加の市内では 120 軒くらいあった業者ですが、今は 50 軒を切ってしまいました。皆さん方のご自宅の周りにもお煎餅屋さんがあったのだけど、いつの間にか辞めてしまった！との業者がたくさんあるわけでございます。その中で地場産業の草加せんべいも 50 軒を割ってしまった業種でありますけど、何としても地場産業としてこれからも何とか頑張っていかなければいけない！与えられた使命ではないかと思っております。いつまでも草加せんべいは草加市の地場産業として頑張っていこうと固い決意で業者と子ども草加の地場産業を大事にしていこうとの決意でありますので、皆様方には一生懸命お煎餅を食べていただきたいと言うことが最後のお願いです。馬頭琴ともども草加せんべいを宜しくお願い致します。ありがとうございました。

幹事報告

鈴木 努幹事

皆さんこんばんは、幹事報告をさせていただきます。報告が 1 点ございます。地区より「DEI について」のアンケートがきております。私も勉強不足なこともあります、内容につきましていくつかの質問があり、最後にクラブ活性化のために「地区 DEI 委員会」の卓話をさせていただけるようです。これを希望するか否かの問いがございました。会長・幹事の方では来ていただきたいと考えておりますが、特にご反対がなければ卓話をお願いしたいと思います。本日の報告は以上です。



リモート参加

細道識行会員

私も草加市のお煎餅と言う事でよく耳にしておりましたが、先ほど 50 軒を切っているとの話をされていましたが、私の前任の秋田には 60 数軒あると 1 年半くらい前に聞いていました。改めて今 50 軒切っていると伺い、こんなに有名なのにビックリしました。何ができるかと言う事はないのですが、お役に立てることはないかを考えながら行動していきたいと思しますのでこれからも宜しくお願い致します。

第9グループガバナー補佐 齋藤幸子様

皆さんこんばんは、今日はガバナー補佐ではなく、センジャーさんの応援に来ましたのですが、お願いがありましてごあいさつをさせていただきます。まずはセンジャーさんをお呼びいただきまして、卓話をさせていただきますありがとうございます。コロナでお仕事がなくなってどうやって生きていこうと言う事もありました。お陰さまで、それまでに東日本大震災の時に3県にボランティアで大活躍していただいた成果もありまして大学の助教授になれたということもあり、只々なれたと言う事だけではなく、彼の努力もあったのだと思います。それによって生活に心配がなくなり、母としてもホッとしております。草加に2人の母さちがおります。

「草加せんべい物語」のDVDができておまして、「いけだ屋」と教育委員会にはお届けしております。これから草加せんべいの文化をずっと残していただきたいの思い出お届けしました。そしてこれから世界に羽ばたいていきたいと思います。「いけだ屋」さんは世界中の話題になるかなと思っております。私はまだないのです。いただいたら皆さんにも時間を作っていただき、上映会をしていただいた愛と思います。

今日は皆さんにグループ奉仕活動と言う事で、地区大会が11月12・13日に行われます。9グループの奉仕活動として発表できるものを作るようご指示がございましたので、皆様にご協力をいただきおこなう事に致しました。

「LGBTQ」とお聞きになったことあるでしょうか？ 私たち世代には理解しがたいと思いますが、今少なくとも人口の5%は、「LGBTQ」の方々がいらっしゃる今の現実がございます。多い町では10%いらっしゃると言われております。各企業の皆様に、ぜひ理解をしていただき、「LGBTQ」とカミングアウトしたとたん首を切られてしまうとか生き方が難しく自殺を考えるなど、色々な現実がございますので、今年ロータリーのテーマ「イマジネーション」DEIの普及と言うかご理解と言う事で始めましたので多様性・公平性と言う意味では良いテーマではないかと思ひ、取り組みをさせていただきます。

10月30日中央公民館でその当事者の埼玉県事務局長をされている方に講演をいただき、草加市・八潮市はすでにパートナーシップ制度を導入しておりますので、役所の方導入の経緯やきっかけの話をしていただこうと企画しております。皆さんのご参加をいただき、ご協力をお願い致します。

地区大会でその時の収録したものを動画にして発表させていただきたいと考えております。皆さんのご協力がないと成功いたしませんのでよろしくお願い致します。

9月20日 ニコニコBOX			
金額	24,000円	累計	164,201円
9月20日 出席報告			
会員総数	31	出席	16
出席免除	1	MU	2
出席適用	30	出席率	60.00

今後のプログラム

- 10/4 誕生祝・結婚祝 レセプション
- 10/11 卓話「米山記念奨学会について」
地区役員 レセプション
- 10/18 卓話 職業奉仕について
会員卓話 レセプション

- 齋藤 幸子様 本日はお世話になります。センジャーさんの応援に参りました。グループ奉仕活動のチラシ、ポスターをお持ちしました。皆様ご参加下さい。
- 竹内 雪子様 第9グループ合同奉仕事業のポスターと出席のお願いに伺いました。宜しくお願い致します。
- 加藤 芳隆会長 9月16日ゴルフコンペお疲れさまでした。
- 鈴木 努幹事 今日「草せんべい物語」センジャーさんの卓話楽しみ！宜しくお願い致します。
- 会田小弥太会員 今日台風一過を期待して出てきましたがまた雨ですネ、でもセンジャーさんの卓話は期待以上でした。ありがとうございました。
- 池田 国雄会員 センジャーさんようこそ、卓話楽しみにしております。
- 牛山 信康会員 ご無沙汰しております。センジャーさんの演奏楽しみにしております。
- 佐々木一男会員 今夜は例会に大幅に遅刻してすみませんでした。我が家では台風被害がなくてホッとしました
- 篠宮 時雄会員 16日のゴルフコンペ、松田さん優勝おめでとございました。それから鈴木幹事ムキになってゴルフの素振りにはホドホドにしましょう。背中痛みはとれましたか！
- 田川 富一会員 センジャーさん卓話、有難う御座います。
- 田中 和郎会員 今日、高齢者教習で鴻巣へ行ってきました。
- 富永 悟会員 父母亡きあとも10年余り私達孫4人の指導役(相談役)をしてくれた創業者である祖父母の50回忌を9月18日(日)に無事済ませ肩の荷が少し軽くなりました。
- 長谷部健一会員 「たらちねの恩いつも設きたり がんばりやしみじめと想う その在り日と」 恩師渦尾秀峰(故 渦尾延之助)先生よりいただきました。
- 山崎 秀美会員 台風一過、秋晴れとならず寒い午後になりました。
- 松田 龍美会員 センジャー(賽音吉雅)さん卓話ありがとうございます。
- 山崎 秀美会員 センジャーさん、本日は卓話ありがとうございます。馬頭琴の演奏も楽しみにしております。
- 齋藤ガバナー、竹内補佐幹事ようこそ
- 山崎 秀美会員 9月16日の親睦ゴルフは、私が1位だったようです。
- 山崎 秀美会員 パーティーに参加出来なかったのが残念でした。
- 山崎 秀美会員 センジャーさん卓話よろしくお願い致します。